

都市再生整備計画（文化交流拠点地区）事後評価の概要

平成 26 年 4 月

事後評価の概要について

鳥取市では、鳥取市西町4丁目等で都市再生整備計画（文化交流拠点地区）を策定し、平成20年度～24年度までの間、都市再生整備計画に基づく事業を実施してきました。

都市再生整備計画では、事業効果を検証するため事後評価を実施することとしており、この度、事後評価原案を作成しました。その主な項目は以下のようになっています。

都市再生整備計画（文化交流拠点地区）の概要

区域面積：60ha

事業期間：平成20年度～平成24年度

事業費：598（百万円）

まちづくりの目標

都市再生整備計画（文化交流拠点）では、以下の目標をたて事業を行いました。

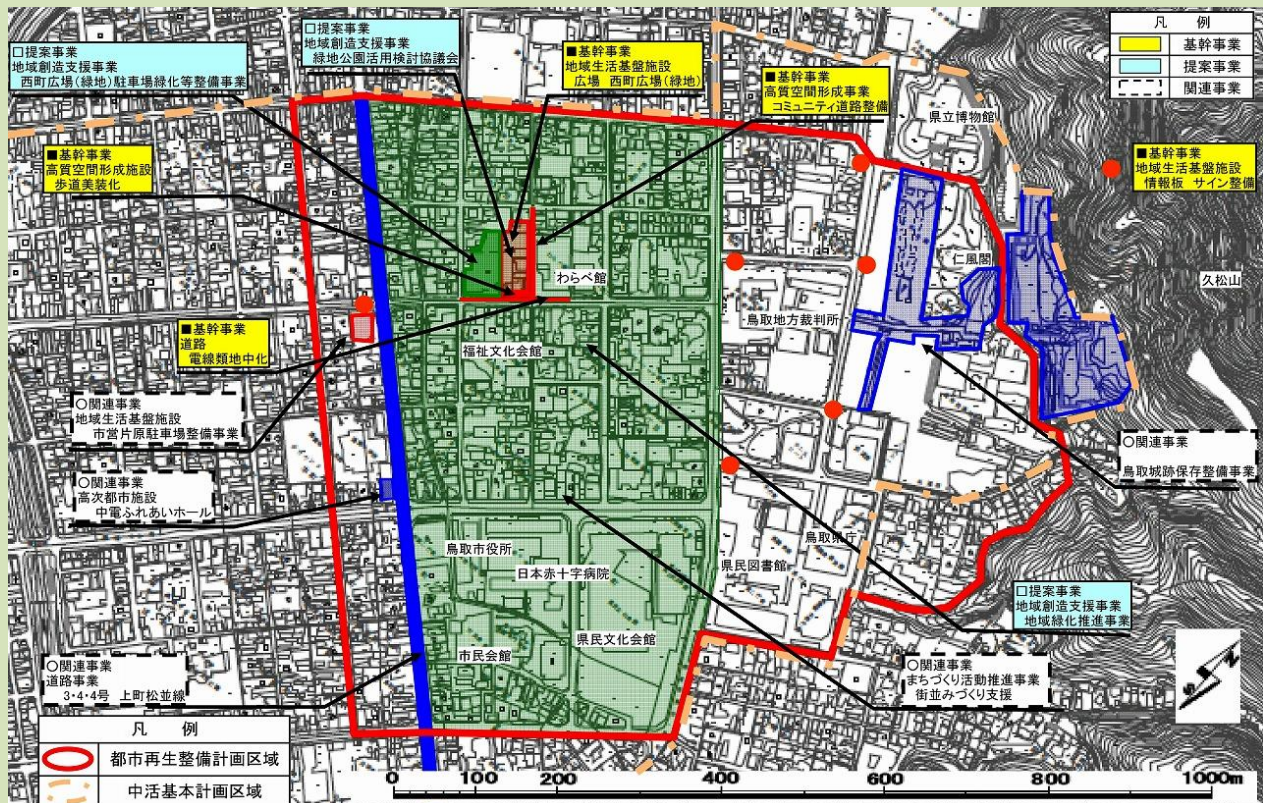
大目標 緑豊かで、多様な交流の拠点として美しく魅力的な市街地の実現をめざす

【目標1】 人の街なかへの誘導

【目標2】 都市イメージ及び居住者や来訪者の快適性の向上

【目標3】 来訪者や歩行者の回遊性の向上

位置図



主な事業

(1) 都市再生の契機となる場を創出するため広場などを整備しました。

- ◇ 地域生活基盤 西町広場（緑地）整備事業
- ◇ 地域創造支援 西町広場（緑地）駐車場緑化等整備事業
- ◇ 高質空間形成 コミュニティ道路整備事業

わらべ館、街路、緑の交流広場、駐車場空間を一体的に機能させ、集い・にぎわい・憩いの拠点とするため、広場、駐車場、コミュニティ道路の整備を行いました。



(2) 景観を活かした街並みの形成のために、電線類の地中化などを行いました。

- ◇ 道路 電線類地中化整備事業
- ◇ 高質空間形成 歩道美装化

景観を活かした街並み形成のために、錯綜する電線類を地中化しました。また、魅力的な歩行空間を創造するために歩道美装化を行いました。



主な事業

(3) 来訪者などへ街なかの案内を行うために、案内サインを整備しました。

◇ 地域生活基盤 サイン整備事業

来訪者などの街なかでの回遊性を向上させるために、案内サインを整備しました。



事後評価の概要

今回の都市再生整備計画（文化交流拠点地区）の事後評価結果は以下のとおりです。

指標の達成状況

①当初指標の結果

計画の中で設定した数値指標の達成状況は、以下のとおりです。

指標名	事業前の 数値	事業後の 目標値	評価値	達成度	1年以内の 見込
指標1 わらべ館入館 者数(人/年)	123,205人 (平成18年)	136,000人 (平成24年)	119,319人 (平成24年)	×	× なし
指標2 市街地の緑の 満足度(%)	36% (平成19年)	45% (平成24年)	64% (平成25年)	○	-
指標3 歩行者通行量 (人/12h)	1,715人 (平成19年)	1,800人 (平成24年)	2,402人 (平成25年)	○	-

指標1：わらべ館の入館者の大幅な増加にはつながらなかったものの、西町広場で平成25年に行われた2度のイベントでは、100名以上の参加があり、街なかへの誘導とともに、わらべ館の入館にも一定の成果が見られました。

指標2：平成24年4月に西町広場を芝生広場として供用開始し、緑の空間を創出したことが、指標の達成につながったと考えています。

指標3：電線類地中化やサイン整備など景観に配慮した空間づくりと回遊性促進の取り組みが、目標の達成につながったと考えています。

指標の達成状況

② 定性的な評価

数値的な評価のほか、数値では表せない事業の効果を以下にまとめています。

- 整備した西町広場は、隣接するわらべ館との一体性を考慮した整備により、明るく開放的な空間となっており、日常的に多くの親子連れや子供達で賑わっています。
- 西町広場では、わらべ館と地元町内会の共同開催によるふれあいイベントや、わらべ館の企画によるわらべ遊びの体験が行われて好評なことから、今後ますます活用されることが期待されます。
- 西町広場とわらべ館の間にあった車道を歩行者専用のコミュニティ道路としたことで、子供達が広場とわらべ館を安全に行き来することができます。

まちの課題の変化

今回の事業によって、まちの課題がどのように変わってきたのかをまとめています。

- 中心市街地における快適な街なか居住の促進を図る上で、西町広場を中心とした「集い」・「賑わい」・「憩い」の拠点が整備できました。
- 西町広場を芝生広場として整備したことで、地区内にまとまりのある緑の空間を創出することができ、自然と調和した潤いのある都市景観の形成につながりました。今後は、街路樹、民家の庭や垣根等の緑化推進など、連続性のある緑の空間を創出することが課題であると考えています。

今後のまちづくりについて

今回の事業を踏まえ、今後のまちづくりについてまとめています。

- 西町広場が、「賑わい」・「交流」の拠点として、より市民の皆さまに親しまれる施設となるようにPRを充実することにより、イベントや日常的な利用を促進します。併せて、鳥取城跡保存整備事業などを着実に推進することで、文化・歴史的景観づくりによるまちの魅力向上を図り、回遊性の高い文化交流拠点地区の実現に取り組みます。
- 街路樹の整備、民家の庭や垣根等の緑化等、連続性のある緑の空間を創出するため、今後も啓発を実施していくとともに、住民の皆さまと協働で緑を保全・創出するための支援等について検討します。